

# SDGsエコポスターコンクール2023

## 入賞作品

座間市ゼロカーボン推進課廃棄物減量係

## 座間市長賞

きれいな海を守りたい

西中学校 1年

穴澤 磨周



海に行った時にゴミがたくさんあって  
悲しい気持ちになりました。

そこで、ゴミのないきれいな海にしたい  
と思い、この作品を書きました。

## イオンモール座間賞

プラごみ削減で守る 海の豊かさ

座間小学校 6年

吉田 桃子



プラスチックは、とても便利な素材です。ですが、日本は年間800万トン以上のプラゴミを排出していて、使い捨て量は、世界第2位です。プラゴミが適正に処理されず、ペットボトルやレジ袋などが川や海に流れ出て、生物に悪えいきょうを与えています。特に、マイクロプラスチックの問題は深刻です。また、プラごみは約6割が燃料として燃やされ、CO2を出すので、地球温暖化になります。

私はこの作品を通して、プラゴミ削減が、海の豊かさや、地球環境を守ることに繋がるということを、より多くの人に知ってもらいたいと思いました。

# 座間市教育長賞

自然を守る

相模が丘小学校 5年

中田 悠斗



陸の自然を守るイメージを自分の手と足を使ってかかえて大切にしようとしている気持ち。



小田急電鉄賞

海と支え合う

西中学校 2年

小磯 はるひ

「海の豊かさを守ろう」と聞くと、人間が海を守っているように聞こえますが、私たちは海に水産資源や様々な面で支えられているということを忘れずに、大切にしていきたいと、この作品を通して思いました。



## ざまりん賞

つくる責任つかう責任

相模が丘小学校 6年

山口 聡大

日本は世界の中でも、出すゴミの量が多く、毎日一人あたり1kgのゴミを出しているそうです。

また、まだ食べられる食品をはいきする食品ロスもたくさんあり、食べる物が無くて困っている人々のことを思うと悲しい気持ちになります。

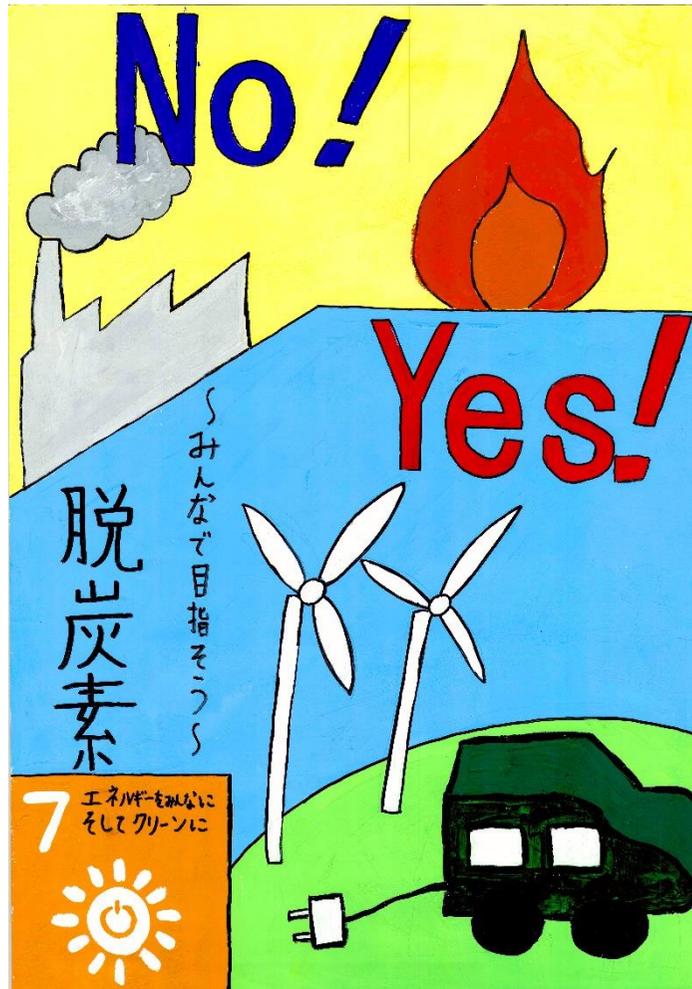
では、それらを少しでも無くすには僕たちはどのようなことをすればいいのでしょうか。一人一人に考えてほしいと思い、このポスターをかきました。

## 優秀賞

みんなで目指そう

立野台小学校 5年

根本 敦弘



私は7番の目標に入っている「エネルギーをクリーンに」について考えた。

まず最初に、火力発電は、二酸化炭素が出て、空気がよごれているのを知り、とり返しが見つからないことを私たち（人間）はしてしまったと思った。

だが調べてみたら風力発電などたいさくがされていることに気がついた。しかし、まだまだ、SDGsすらのそんざいを知らない人も多い。作品名の「みんなで目指そう」には老若男女、外国人の人でもいっしょにがんばって目標を達成していこうという願いがこめられている。しかし私たち子どもにできることは少ない。だから少しの心がけていい、こうやってよびかけることが大切だと思いながら書きました。

また2つの世界、火力発電を使っている世界と、風力発電などを使っている世界に分け、火のほうは空気が汚いきいろ、風を使っているのは青で空気がすみきっているのを表現している。

## 優秀賞

海の生き物 こまっています!!!

相武台東小学校 5年

早野 真翔



船が動いているように、えんとつからけむりを出す工夫をしました。海の上は、うすい色をしていて真中は、すこし暗い色をしているので、グラデーションのような書き方で書く工夫をしました。

カメが色々、食べてはいけない物を食べてしまって、かわいそうという、気持ちをみんなに、分かってもらえるように、カメが、アミにひっかって死んでしまいそうになっているかわいそうな場面を書きました。

海の生き物が、きれいな海で生きていけるようにゴミを捨てない工夫をしてほしいです。

## 優秀賞

幸せを運ぼう、全ての命に

中原小学校 6年

ハウペガマゲ 愛玲奈



この世界は今までに大量の種の絶滅を経験して来た。調べてみるとその理由として、密猟に乱獲、外来種の侵入や森林伐採、地球温暖化などがあるらしい。これらには一つ共通点がある。それは全て人間が原因となっているということである。今この社会では、人間とその他の生物との間に「命の価値」の差が開きすぎていると感じる。家を破かいされ、仲間や家族が死んでいくのを見ながら、自らの命の火も弱まる中で、絶滅した生物たちは何を思っただろう。自然界のバランスは確実にくずれていく。生物達の大量の命と悲しみの上に立って笑う人間も、そのまま何も変わらずに生物達の命が次々に絶えてゆくのも、なんだかとても苦しくはないだろうか。白いハトが幸せを運ぶように。地球に多様性の色づいた豊かな緑を。必死に生きる全ての命に彩りを。届けられるように。

優秀賞

破壊から再生へ

相模野小学校 6年

志村 瑛多



地球温暖化や急激な気候変動により  
私たちの地球はもはや悲鳴を上げな  
がら涙を流しています。

私たち一人一人が環境について考  
え、対策し、環境改善に向けて努力し  
ていくことで、その涙はやがて希望と  
なり、新しい芽を生やしきれいな花を  
咲かせると信じています。

優秀賞

どっちも

相模中学校 1年

大高 実祈

どっちかじゃなくて、どっちも大事という意味



優秀賞

未来の光

相模中学校 2年

デイビス 美月 クレア



この作品は、近い未来への願いをこめて描きました。海はもともと描くのが得意なので、より伝えることができるのではと思って目標を14にしました。

このポスターは注意とかをしていなかったり、やたらとピカピカ光っていて変わっているなと思ったかもしれませんが、これは「目標」のつもりで描きました。私の場合は目標が無いと前へ進むことが難しいことがあります。きっと座間市内にもそんな方がいると思って、この14の目標の理想を描いて、実際にポスターを見てもらい、モチベーションを上げてもらおうという私のねらいもあります。文字（キャッチコピー）がないのは外国人、小さな子等にも伝えることができるように工夫しようとした結果です。

このポスターは私が社会に伝えるための工夫の塊のようなものなので本当にみなさんに伝わってほしいと思っています。

そしていつか近い未来に私が大好きな海が絵に描いたぐらいキラキラ輝く海になり、「海の豊かさを守る」ことができることを願っています！

優秀賞

Stop海洋汚染

南中学校 3年

古賀 美優



皆さんが普段、なにげなく水道に流している油やしょう油、味噌汁も実は海をよごす原因となっています。下水処理場では、そういった物を薄めるために何万トンもの水が必要なんだそうです。この世界に住んでいる一人一人が、そのことを認識し、少しでも海への負担を考えてくれたらとても嬉しいです。

背景の涙を流しているのは、鯨をイメージしています。「海洋汚染」について人々に訴えているように描きました。